



## 平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年10月27日

上場会社名 新日本無線株式会社

上場取引所 東

コード番号 6911 URL <http://www.njr.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小倉 良

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 須藤 雅教 TEL 03-5642-8222

四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 有 機関投資家向け

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	25,270	5.0	889	37.9	880	80.7	844	135.0
29年3月期第2四半期	24,058	0.8	645	△66.0	487	△74.8	359	△80.6

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 1,017百万円 (ー%) 29年3月期第2四半期 56百万円 (△96.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	21.58	ー
29年3月期第2四半期	9.18	ー

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	43,669	12,209	28.0	312.11
29年3月期	40,409	11,192	27.7	286.09

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 12,209百万円 29年3月期 11,192百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	ー	0.00	ー	0.00	0.00
30年3月期	ー	0.00	ー	0.00	0.00
30年3月期(予想)	ー	ー	ー	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	52,000	6.4	2,500	39.5	2,600	39.8	2,500	305.7	63.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期2Q	39,131,000株	29年3月期	39,131,000株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	9,938株	29年3月期	9,938株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期2Q	39,121,062株	29年3月期2Q	39,121,062株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等は「[添付資料] 3 ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9
(重要な後発事象) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成29年4月1日から平成29年9月30日まで）において、主力の電子デバイス製品は、中国スマートフォン市場成長の急激な鈍化により、通信デバイス向けの製品販売が減少しましたが、車載・産業機器向け半導体の販売が好調に推移しました。またマイクロ波製品も、海外向け衛星通信用コンポーネントの販売が好調に推移しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における経営成績は、以下のとおりとなりました。

売上高	25,270百万円	（前年同期間比	5.0%増）
営業利益	889百万円	（前年同期間比	37.9%増）
経常利益	880百万円	（前年同期間比	80.7%増）
親会社株主に帰属する四半期純利益	844百万円	（前年同期間比	135.0%増）

セグメント情報については次のとおりであります。なお、セグメント利益は営業利益ベースの数値であります。

## (マイクロ波製品)

マイクロ波製品は、長引く造船不況により船舶用レーダー向けマイクロ波管の販売が減少した一方で、衛星通信用コンポーネントが、船舶での通信高速化へのアップグレード需要により好調に推移し、売上高、セグメント利益ともに前年同期間に比べて増加しました。

この結果、当セグメントの売上高、セグメント利益は、以下のとおりとなりました。

売上高	3,270百万円	（前年同期間比	19.9%増）
セグメント利益	498百万円	（前年同期間比	113.4%増）

## (電子デバイス製品)

電子デバイス製品は、通信デバイス向けガリウムヒ素半導体の販売が中国スマートフォンメーカーの生産調整により前年同期間に比べ減少しましたが、車載・産業機器製品向けオペアンプや電源系の半導体の販売が好調に推移し、売上高は前年同期間に比べて増加しました。特に、産業機器製品向けは、スマートフォン、車および有機EL向けの設備投資が活況で、国内の産業機器関連メーカーの売上が伸びたことに伴って当社の売上も大幅に増加しました。

セグメント利益は、人件費、設備投資等の固定費が先行的に発生し、前年同期間に比べ微減となりました。

この結果、当セグメントの売上高、セグメント利益は、以下のとおりとなりました。

売上高	22,000百万円	（前年同期間比	3.1%増）
セグメント利益	1,298百万円	（前年同期間比	1.8%減）

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債、純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末（平成29年9月30日）の資産合計は、受取手形及び売掛金、電子記録債権、仕掛品、有形固定資産の増加などにより前年度末比3,259百万円増加して43,669百万円となりました。負債合計は、買掛金および短期借入金の増加などにより前年度末比2,241百万円増加して31,459百万円となりました。この結果、純資産合計は、前年度末比1,017百万円増加して12,209百万円となり、自己資本比率は前年度末比0.3ポイント増加して28.0%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前年度末比211百万円増加(前年同期間は381百万円の減少)して1,463百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間の各キャッシュ・フローの状況については次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前四半期純利益が878百万円(前年同期間は475百万円)となり、減価償却費1,121百万円(前年同期間は1,074百万円)、売上債権の増加額△890百万円(前年同期間は増加額△829百万円)、たな卸資産の増加額△699百万円(前年同期間は増加額△625百万円)、仕入債務の増加額740百万円(前年同期間は増加額683百万円)などを調整した結果、営業活動では642百万円の資金の増加(前年同期間は927百万円の資金の増加)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産の取得による支出が△1,415百万円(前年同期間の支出△1,354百万円)となったことなどから、投資活動では1,465百万円の資金の減少(前年同期間は1,449百万円の資金の減少)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

短期借入金の増加額が1,514百万円(前年同期間は増加額576百万円)、長期借入金の減少額が△510百万円(前年同期間の減少額△326百万円)となったことなどから、財務活動では1,001百万円の資金の増加(前年同期間は243百万円の資金の増加)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において、平成30年3月期通期業績予想につきましては、平成29年4月28日公表の数値から変更ありません。今後の市況や業績動向等の変化により修正が必要と判断された場合には速やかに開示することといたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,252	1,463
受取手形及び売掛金	9,446	9,888
電子記録債権	3,137	3,632
商品及び製品	3,050	3,071
仕掛品	7,268	7,720
原材料及び貯蔵品	3,270	3,541
繰延税金資産	992	1,057
その他	283	561
流動資産合計	28,701	30,937
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	26,361	26,575
減価償却累計額	△20,983	△21,236
建物及び構築物 (純額)	5,378	5,338
機械装置及び運搬具	62,175	62,995
減価償却累計額	△58,941	△59,242
機械装置及び運搬具 (純額)	3,233	3,752
工具、器具及び備品	12,579	12,894
減価償却累計額	△11,119	△11,272
工具、器具及び備品 (純額)	1,460	1,622
その他	615	714
有形固定資産合計	10,688	11,427
無形固定資産	287	291
投資その他の資産		
投資有価証券	195	214
繰延税金資産	67	108
その他	471	690
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	732	1,012
固定資産合計	11,708	12,731
資産合計	40,409	43,669

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,088	3,745
電子記録債務	1,663	1,871
短期借入金	5,059	6,589
1年内返済予定の長期借入金	1,020	1,020
未払法人税等	351	164
役員賞与引当金	18	8
その他	5,023	5,460
流動負債合計	16,225	18,860
固定負債		
長期借入金	3,990	3,480
繰延税金負債	3	0
退職給付に係る負債	8,459	8,492
資産除去債務	56	56
その他	482	568
固定負債合計	12,992	12,598
負債合計	29,217	31,459
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,220	5,220
資本剰余金	5,223	5,223
利益剰余金	2,239	3,083
自己株式	△4	△4
株主資本合計	12,678	13,522
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	47	60
為替換算調整勘定	△453	△332
退職給付に係る調整累計額	△1,079	△1,040
その他の包括利益累計額合計	△1,486	△1,312
純資産合計	11,192	12,209
負債純資産合計	40,409	43,669

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	24,058	25,270
売上原価	19,588	20,565
売上総利益	4,470	4,704
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	1,605	1,631
退職給付費用	68	50
開発研究費	775	756
その他	1,376	1,376
販売費及び一般管理費合計	3,825	3,815
営業利益	645	889
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	4	1
為替差益	—	35
屑売却益	33	37
受取賃貸料	34	37
その他	20	39
営業外収益合計	93	152
営業外費用		
支払利息	34	33
為替差損	135	—
損害賠償金	75	123
その他	4	3
営業外費用合計	251	160
経常利益	487	880
特別利益		
固定資産売却益	2	3
特別利益合計	2	3
特別損失		
固定資産除却損	14	2
固定資産売却損	0	0
減損損失	—	2
特別損失合計	14	5
税金等調整前四半期純利益	475	878
法人税、住民税及び事業税	119	151
法人税等調整額	△3	△116
法人税等合計	116	34
四半期純利益	359	844
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	359	844



(四半期連結包括利益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純利益	359	844
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4	13
為替換算調整勘定	△360	121
退職給付に係る調整額	62	39
その他の包括利益合計	△302	173
四半期包括利益	56	1,017
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	56	1,017
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	475	878
減価償却費	1,074	1,121
減損損失	—	2
固定資産除却損	14	2
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	86	73
受取利息及び受取配当金	△5	△2
支払利息	34	33
為替差損益 (△は益)	20	△13
売上債権の増減額 (△は増加)	△829	△890
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△625	△699
仕入債務の増減額 (△は減少)	683	740
その他	131	△196
小計	1,059	1,051
利息及び配当金の受取額	5	2
利息の支払額	△36	△29
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△101	△381
営業活動によるキャッシュ・フロー	927	642
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,354	△1,415
無形固定資産の取得による支出	△84	△51
その他	△11	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,449	△1,465
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	576	1,514
長期借入れによる収入	300	—
長期借入金の返済による支出	△626	△510
その他	△6	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	243	1,001
現金及び現金同等物に係る換算差額	△102	33
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△381	211
現金及び現金同等物の期首残高	1,661	1,252
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,279	1,463

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	マイクロ波 製品	電子デバイス 製品			
売上高					
外部顧客への売上高	2,726	21,332	24,058	—	24,058
セグメント利益	233	1,323	1,556	△911	645

(注) 1 セグメント利益の調整額の金額△911百万円は、報告セグメントに帰属しない四半期連結財務諸表提出会社の一般管理費であります。

2 セグメント利益の合計とセグメント利益の調整額との合計が、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	マイクロ波 製品	電子デバイス 製品			
売上高					
外部顧客への売上高	3,270	22,000	25,270	—	25,270
セグメント利益	498	1,298	1,797	△908	889

(注) 1 セグメント利益の調整額の金額△908百万円は、報告セグメントに帰属しない四半期連結財務諸表提出会社の一般管理費であります。

2 セグメント利益の合計とセグメント利益の調整額との合計が、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

以上